

(退職給付関係)

前連結会計年度 (自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)	当連結会計年度 (自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)
<p>1. 採用している退職給付制度の概要 退職金制度の50%相当額について適格退職年金制度を採用し、残額については退職一時金を充当しております。</p> <p>2. 退職給付債務に関する事項</p> <p>①退職給付債務期末残高 2,444,679千円 ②年金資産期末残高 △766,913千円 ③未認識数理計算上の差異期末残高 △167,106千円 ④退職給付引当金 1,510,658千円</p> <p>3. 退職給付費用に関する事項</p> <p>①勤務費用の額 290,585千円 ②利息費用の額 63,400千円 ③期待運用収益 △20,348千円 ④数理計算上の差異の費用処理額 △11,712千円 ⑤退職給付費用 321,925千円</p> <p>4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項</p> <p>①割引率 2.5% ②期待運用収益率 2.5% ③退職給付見込額の期間配分方法 期間定額基準 ④その他の退職給付債務等の計算基礎に関する事項</p> <p style="text-align: right;">数理計算上の差異の処理年数 1年 (発生会計年度の翌会計年度において一括費用処理しております。)</p>	<p>1. 採用している退職給付制度の概要 退職金制度の50%相当額について適格退職年金制度を採用し、残額については退職一時金を充当しております。</p> <p>2. 退職給付債務に関する事項</p> <p>①退職給付債務期末残高 2,562,277千円 ②年金資産期末残高 △848,593千円 ③未認識数理計算上の差異期末残高 △23,589千円 ④退職給付引当金 1,690,094千円</p> <p>3. 退職給付費用に関する事項</p> <p>①勤務費用の額 315,441千円 ②利息費用の額 61,032千円 ③期待運用収益 △19,172千円 ④数理計算上の差異の費用処理額 167,106千円 ⑤退職給付費用 524,408千円</p> <p>4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項</p> <p>①割引率 1.5% ②期待運用収益率 1.5% ③退職給付見込額の期間配分方法 期間定額基準 ④その他の退職給付債務等の計算基礎に関する事項</p> <p style="text-align: right;">数理計算上の差異の処理年数 1年 (発生会計年度の翌会計年度において一括費用処理しております。)</p>

(税効果会計関係)

前連結会計年度	当連結会計年度																																																																																						
<p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td colspan="2">繰延税金資産</td> </tr> <tr> <td>未払事業税</td> <td style="text-align: right;">170,065千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却超過額</td> <td style="text-align: right;">255,890千円</td> </tr> <tr> <td>長期前払費用償却超過額</td> <td style="text-align: right;">208,782千円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金損金算入超過額</td> <td style="text-align: right;">38,871千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金損金算入超過額</td> <td style="text-align: right;">531,561千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金損金算入超過額</td> <td style="text-align: right;">126,733千円</td> </tr> <tr> <td>会員権評価損</td> <td style="text-align: right;">36,504千円</td> </tr> <tr> <td>投資有価証券評価損</td> <td style="text-align: right;">125,744千円</td> </tr> <tr> <td>その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">一千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">401,002千円</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産合計</td> <td style="text-align: right;">1,895,157千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">繰延税金負債</td> </tr> <tr> <td>特別償却準備金</td> <td style="text-align: right;">330,434千円</td> </tr> <tr> <td>その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">17,381千円</td> </tr> <tr> <td>繰延税金負債合計</td> <td style="text-align: right;">347,816千円</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産の純額</td> <td style="text-align: right;"><u>1,547,341千円</u></td> </tr> </table> <p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主要な項目別の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>法定実効税率</td> <td style="text-align: right;">42.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(調整)</td> </tr> <tr> <td>交際費等永久に損金に算入されない項目</td> <td style="text-align: right;">1.5%</td> </tr> <tr> <td>住民税均等割等</td> <td style="text-align: right;">1.7%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">0.0%</td> </tr> <tr> <td>税効果会計適用後の法人税等の負担率</td> <td style="text-align: right;"><u>45.2%</u></td> </tr> </table>	繰延税金資産		未払事業税	170,065千円	減価償却超過額	255,890千円	長期前払費用償却超過額	208,782千円	貸倒引当金損金算入超過額	38,871千円	退職給付引当金損金算入超過額	531,561千円	賞与引当金損金算入超過額	126,733千円	会員権評価損	36,504千円	投資有価証券評価損	125,744千円	その他有価証券評価差額金	一千円	その他	401,002千円	繰延税金資産合計	1,895,157千円	繰延税金負債		特別償却準備金	330,434千円	その他有価証券評価差額金	17,381千円	繰延税金負債合計	347,816千円	繰延税金資産の純額	<u>1,547,341千円</u>	法定実効税率	42.0%	(調整)		交際費等永久に損金に算入されない項目	1.5%	住民税均等割等	1.7%	その他	0.0%	税効果会計適用後の法人税等の負担率	<u>45.2%</u>	<p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td colspan="2">繰延税金資産</td> </tr> <tr> <td>未払事業税</td> <td style="text-align: right;">△ 39,688千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却超過額</td> <td style="text-align: right;">257,271千円</td> </tr> <tr> <td>長期前払費用償却超過額</td> <td style="text-align: right;">176,670千円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金損金算入超過額</td> <td style="text-align: right;">46,834千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金損金算入超過額</td> <td style="text-align: right;">603,866千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金損金算入超過額</td> <td style="text-align: right;">207,204千円</td> </tr> <tr> <td>会員権評価損</td> <td style="text-align: right;">35,750千円</td> </tr> <tr> <td>投資有価証券評価損</td> <td style="text-align: right;">164,103千円</td> </tr> <tr> <td>繰越欠損金</td> <td style="text-align: right;">960,586千円</td> </tr> <tr> <td>再資源化費用等引当金否認額</td> <td style="text-align: right;">616,623千円</td> </tr> <tr> <td>その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">52,034千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">99,713千円</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産小計</td> <td style="text-align: right;">3,180,971千円</td> </tr> <tr> <td>評価性引当額</td> <td style="text-align: right;">△ 960,586千円</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産合計</td> <td style="text-align: right;">2,220,385千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">繰延税金負債</td> </tr> <tr> <td>特別償却準備金</td> <td style="text-align: right;">242,961千円</td> </tr> <tr> <td>繰延税金負債合計</td> <td style="text-align: right;">242,961千円</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産の純額</td> <td style="text-align: right;"><u>1,977,423千円</u></td> </tr> </table> <p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主要な項目別の内訳</p> <p>当連結会計年度は、税金等調整前当期純損失が計上されているため記載しておりません。</p> <p>3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の修正額</p> <p>平成15年3月31日に「地方税法等の一部を改正する法律」(平成15年法律9号)が公布され、平成16年4月1日以降に開始する事業年度から法人事業税に外形標準課税が導入されることにより、法人事業税率が変更されることとなりました。</p> <p>これに伴い、平成16年4月1日以降開始事業年度において解消が見込まれる一時差異については、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用した法定実効税率は前連結会計年度の42%から40%に変更されました。</p> <p>その結果、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が52百万円減少し、当連結会計年度に計上された法人税等調整額の金額は同額増加しております。</p>	繰延税金資産		未払事業税	△ 39,688千円	減価償却超過額	257,271千円	長期前払費用償却超過額	176,670千円	貸倒引当金損金算入超過額	46,834千円	退職給付引当金損金算入超過額	603,866千円	賞与引当金損金算入超過額	207,204千円	会員権評価損	35,750千円	投資有価証券評価損	164,103千円	繰越欠損金	960,586千円	再資源化費用等引当金否認額	616,623千円	その他有価証券評価差額金	52,034千円	その他	99,713千円	繰延税金資産小計	3,180,971千円	評価性引当額	△ 960,586千円	繰延税金資産合計	2,220,385千円	繰延税金負債		特別償却準備金	242,961千円	繰延税金負債合計	242,961千円	繰延税金資産の純額	<u>1,977,423千円</u>
繰延税金資産																																																																																							
未払事業税	170,065千円																																																																																						
減価償却超過額	255,890千円																																																																																						
長期前払費用償却超過額	208,782千円																																																																																						
貸倒引当金損金算入超過額	38,871千円																																																																																						
退職給付引当金損金算入超過額	531,561千円																																																																																						
賞与引当金損金算入超過額	126,733千円																																																																																						
会員権評価損	36,504千円																																																																																						
投資有価証券評価損	125,744千円																																																																																						
その他有価証券評価差額金	一千円																																																																																						
その他	401,002千円																																																																																						
繰延税金資産合計	1,895,157千円																																																																																						
繰延税金負債																																																																																							
特別償却準備金	330,434千円																																																																																						
その他有価証券評価差額金	17,381千円																																																																																						
繰延税金負債合計	347,816千円																																																																																						
繰延税金資産の純額	<u>1,547,341千円</u>																																																																																						
法定実効税率	42.0%																																																																																						
(調整)																																																																																							
交際費等永久に損金に算入されない項目	1.5%																																																																																						
住民税均等割等	1.7%																																																																																						
その他	0.0%																																																																																						
税効果会計適用後の法人税等の負担率	<u>45.2%</u>																																																																																						
繰延税金資産																																																																																							
未払事業税	△ 39,688千円																																																																																						
減価償却超過額	257,271千円																																																																																						
長期前払費用償却超過額	176,670千円																																																																																						
貸倒引当金損金算入超過額	46,834千円																																																																																						
退職給付引当金損金算入超過額	603,866千円																																																																																						
賞与引当金損金算入超過額	207,204千円																																																																																						
会員権評価損	35,750千円																																																																																						
投資有価証券評価損	164,103千円																																																																																						
繰越欠損金	960,586千円																																																																																						
再資源化費用等引当金否認額	616,623千円																																																																																						
その他有価証券評価差額金	52,034千円																																																																																						
その他	99,713千円																																																																																						
繰延税金資産小計	3,180,971千円																																																																																						
評価性引当額	△ 960,586千円																																																																																						
繰延税金資産合計	2,220,385千円																																																																																						
繰延税金負債																																																																																							
特別償却準備金	242,961千円																																																																																						
繰延税金負債合計	242,961千円																																																																																						
繰延税金資産の純額	<u>1,977,423千円</u>																																																																																						

(セグメント情報)

1. 事業の種類別セグメント情報

前連結会計年度(自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)

(単位：千円)

	HS事業部門	ES事業部門	環境資源開 発事業部門	計	消去 又は全社	連 結
I 売上高及び営業利益						
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	45,490,460	8,094,278	5,675,924	59,260,664	—	59,260,664
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	802	802	(802)	—
計	45,490,460	8,094,278	5,676,727	59,261,466	(802)	59,260,664
営業費用	31,579,410	7,735,449	9,119,247	48,434,107	3,211,978	51,646,086
営業利益又は 営業損失(△)	13,911,050	358,828	△3,442,519	10,827,358	(3,212,781)	7,614,577
II 資産・減価償却費 及び資本的支出						
(1) 資 産	7,418,808	2,712,142	33,389,305	43,520,257	16,887,359	60,407,616
(2) 減 価 償 却 費	133,780	20,578	1,777,293	1,931,653	293,176	2,224,830
(3) 資 本 的 支 出	80,466	15,068	6,695,666	6,791,200	75,586	6,866,787

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な製品

(1) HS事業部門……………家屋補強システム、白蟻防除施工、床下・天井裏換気システム等

(2) ES事業部門……………活水器取付施工、定期衛生管理保守点検施工等

(3) 環境資源開発事業部門…廃プラ加工処理、焼却処理、有機廃液処理

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は3,212,781千円であり、親会社本社の総務部等管理部門に係る費用であります。

4. 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は、16,887,359千円であり、親会社本社での余資産運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

当連結会計年度(自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)

(単位：千円)

	HS事業部門	ES事業部門	環境資源開発事業部門	計	消去又は全社	連結
I 売上高及び営業利益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	34,708,625	8,085,061	7,564,139	50,357,826	—	50,357,826
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	775	775	(775)	—
計	34,708,625	8,085,061	7,564,914	50,358,602	(775)	50,357,826
営業費用	30,092,197	8,080,182	11,357,680	49,530,060	3,606,831	53,136,891
営業利益又は営業損失(△)	4,616,428	4,879	△3,792,765	828,541	(3,607,606)	△2,779,064
II 資産・減価償却費及び資本的支出						
(1) 資産	5,688,910	2,677,611	39,918,510	48,285,033	13,747,773	62,032,806
(2) 減価償却費	126,966	25,136	1,949,048	2,101,151	276,551	2,377,703
(3) 資本的支出	428,508	16,186	8,088,119	8,532,813	99,965	8,632,779

- (注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。
2. 各区分の主な製品
- (1) HS事業部門……………家屋補強システム、白蟻防除施工、床下・天井裏換気システム等
- (2) ES事業部門……………活水器取付施工、定期衛生管理保守点検施工等
- (3) 環境資源開発事業部門…廃プラ加工処理、焼却処理、有機廃液処理
3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は3,607,606千円であり、親会社本社の総務部等管理部門に係る費用であります。
4. 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は、13,747,773千円であり、親会社本社での余資産運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
5. 会計処理の変更
- 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項4に記載のとおり、従来、再資源化燃料用廃プラスチックに係る移送・保管等の費用は、発生の都度費用として処理しておりましたが、当連結会計年度から、連結会計年度末に保管している再資源化燃料用廃プラスチックについて、将来発生すると見込まれる額を再資源化費用等引当金として計上することとしております。この変更により、従来の方法によった場合に比べ、「環境資源開発事業部門」について営業損失は627,554千円多く計上されております。なお、「環境資源開発事業部門」以外の事業部門については、セグメント情報に与える影響はありません。

2. 所在地別セグメント情報

前連結会計年度(自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)

当連結会計年度において、本邦以外の国又は地域に支店及び連結子会社を有していないため記載を省略しております。

当連結会計年度(自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)

当連結会計年度において、全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計に占める本邦の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 海外売上高

前連結会計年度(自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(関連当事者との取引)

前連結会計年度(自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)

(1) 役員及び個人主要株主等

(単位:千円)

属性	名称	所在地	資本金又は出資金	事業の内容 又は職業	議決権等の 被所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の 兼任等	事業上の関係				
役員及びその近親者	安井玄一郎			リックス㈱ 代表取締役	直接 0%	—	—	リックス㈱からの 固定資産購入 産業廃棄物の地 理受託	2,555,267 164	未払金 売掛金	828,150 —
主要株主(個人)及び その近親者が議決権 の過半数を所有して いる会社等 (当該会社等の子会 社を含む)	㈱サンレオ	佐賀県 伊万里市	10,000	床下換気器 の製造、販売 及び牛肉の 販売	該当なし	なし	当社半製品及 び材料の販売	当社半製品及び 材料の販売	511,752	売掛金	358,688
	㈱アサンテ	東京都 新宿区	600,000	シロアリ防 除、床下換 気扇取付等 環境衛生管 理業	直接 2%	なし	材料の販売 役務の提供	当社材料販売及 び役務の提供	1,012,015	売掛金	1,055,500
役員及びその近親者 が議決権の過半数を 所有している会社等 (当該会社等の子会 社を含む)	宗政酒造㈱	佐賀県 伊万里市	22,000	酒製造業	直接 3% 間接 0%	兼任 1名	宗政酒造㈱の 製品購入 当社役務の提 供	贈答品等の購入 産業廃棄物の地 理受託	28,231 6,181	未払金 売掛金	1,163 363
	㈱対馬グ ランドホテル	長崎県 下県郡 美津島町	95,000	ホテル事業	該当なし	なし	役務の受入	宿泊施設の利用	6,082	未払金	170
	㈱グローバ ルアリーナ	福岡県 宗像市	10,000	スポーツ施 設及び宿泊 施設の管 理、運営	該当なし	兼任 2名	施設の利用、 贈答品の購入 当社役務の提 供	施設の利用、贈 答品の購入 給水設備の保守	103,554 4,551	未払金 売掛金	3,647 16

- (注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等を含まず、期末残高には消費税等を含んでおります。
2. リックス㈱との取引はいわゆる第三者のための取引であります。
3. ㈱サンレオとの取引は、㈱サンレオが㈱アサンテにのみ販売することを条件としたものでありますので、実質的に㈱アサンテとの取引であります。
 ㈱アサンテは、当社の主要株主である宗政伸一の実兄が議決権の過半数を所有する会社であり、このため、㈱サンレオとの取引は「主要株主の近親者が議決権の過半数を所有する会社」との取引に該当しております。また、宗政伸一は当社代表取締役でもありますので、当該取引は「役員の子親者が過半数を所有する会社」との取引にも該当しております。
4. 宗政酒造㈱においては、当社取締役宗政伸一が、代表取締役を兼任しているため、同社との取引はいわゆる第三者のための取引として「役員及びそれらの近親者」との取引にも該当しております。
5. ㈱アサンテは、当社の主要株主である宗政伸一の実兄が議決権の過半数を所有する会社であり、このため、㈱サンレオとの取引は「主要株主の近親者が議決権の過半数を所有する会社」との取引に該当しております。また、宗政伸一は当社代表取締役でもありますので、当該取引は「役員の子親者が過半数を所有する会社」との取引にも該当しております。

取引条件ないし取引条件の決定方針等

- (1) リックス㈱との営業取引については、価格、その他の取引条件は、当社と関係を有しない他社と同様の条件によっております。
- (2) ㈱サンレオへの販売価格については、性能などの差異等を勘案し、また当社として相応の利益を確保する方針で交渉のうえ、決定しております。
- (3) ㈱アサンテへの当社役務の提供についての販売価額は、当社と関係を有しない他社と同様の条件によっております。また、当該取引は、平成14年3月29日の契約締結日までに役務の提供を完了したものでありますが、支払期日は取引額の大さを鑑み、平成14年4月までに5億円、平成14年8月までに5億円となっております。
- (4) 宗政酒造㈱からの販促品等の購入についての価格、その他の取引条件は、当社と関係を有しない他社と同様の条件によっております。
- (5) ㈱グローバルアリーナの施設利用及び贈答品の購入についての価額、その他の取引条件は、当社と関係を有しない他社と同様の条件によっております。
- (6) 当社役務の提供についての価格、その他の取引条件は、当社と関係を有しない他社と同様の条件によっております。

当連結会計年度(自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)

(1) 役員及び個人主要株主等

(単位：千円)

属 性	名 称	所在地	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権等の被所有割合	関 係 内 容		取引の内容	取引金額	科 目	期末残高
						役員兼任等	事業上の関係				
役員及びその近親者	安井太一郎			リックス㈱代表取締役	直接 0%	—	—	リックス㈱からの固定資産購入 産業廃棄物の処理受託	1,431,476 74	未払金 売掛金	114,841 —
主要株主(個人)及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社等(当該会社等の子会社を含む)	㈱サンレオ	佐賀県伊万里市	10,000	床下換気扇の製造、販売及び羊肉の販売	該当なし	なし	贈答品等の購入 当社半製品の販売	贈答品等の購入 当社半製品の販売	13,090 16,951	未払金 売掛金	267 —
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社等(当該会社等の子会社を含む)	宗政酒造㈱	佐賀県伊万里市	22,000	酒製造業	直接 3% 間接 0%	兼任 1名	宗政酒造㈱の製品購入 当社役務の提供	贈答品等の購入 産業廃棄物の処理受託	21,999 7,091	未払金 売掛金	806 853
	㈱対馬グランドホテル	長崎県下県郡美津島町	95,000	ホテル事業	該当なし	なし	役務の受入 当社役務の提供	宿泊施設の利用 換気システム、害虫・害獣防除施工	8,283 3,360	未払金 売掛金	3,484 —
	㈱グローバルアリーナ	福岡県宗像市	10,000	スポーツ施設及び宿泊施設の管理、運営	該当なし	兼任 2名	施設の利用、贈答品の購入 当社役務の提供	施設の利用、贈答品の購入 給水設備のメンテナンス	73,751 4,990	未払金 売掛金	4,147 252

- (注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等を含まず、期末残高には消費税等を含んでおります。
2. リックス㈱との取引はいわゆる第三者のための取引であります。
3. ㈱サンレオとの取引は、㈱サンレオが㈱アサンテにのみ販売することを条件としたものでありますので、実質的に㈱アサンテとの取引であります。
 ㈱アサンテは、当社の主要株主である宗政伸一の実兄が議決権の過半数を所有する会社であり、このため、㈱サンレオとの取引は「主要株主の近親者が議決権の過半数を所有する会社」との取引に該当しております。また、宗政伸一は当社代表取締役でもありますので、当該取引は「役員近親者が過半数を所有する会社」との取引にも該当しております。
4. 宗政酒造㈱においては、当社取締役宗政伸一が、代表取締役を兼任しているため、同社との取引はいわゆる第三者のための取引として「役員及びそれらの近親者」との取引にも該当しております。

取引条件ないし取引条件の決定方針等

- (1) リックス㈱との営業取引については、価格、その他の取引条件は、当社と関係を有しない他社と同様の条件によっております。
- (2) ㈱サンレオへの販売価格については、性能などの差異等を勘案し、また当社として相応の利益を確保する方針で交渉のうえ、決定しております。
- (3) 宗政酒造㈱からの販促品等の購入についての価格、その他の取引条件は、当社と関係を有しない他社と同様の条件によっております。
- (4) ㈱グローバルアリーナの施設利用及び贈答品の購入についての価額、その他の取引条件は、当社と関係を有しない他社と同様の条件によっております。
- (5) 当社役務の提供についての価格、その他の取引条件は、当社と関係を有しない他社と同様の条件によっております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度		当連結会計年度	
1株当たり純資産額	1,094.97円	1株当たり純資産額	976.12円
1株当たり当期純利益	97.88円	1株当たり当期純損失	85.89円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益の金額については、調整計算の結果、1株当たり当期純利益の金額が希薄化しないため記載しておりません。		潜在株式調整後1株当たり当期純利益の金額については、1株当たり当期純損失が計上されており、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
		当連結会計年度から「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準委員会平成14年9月25日企業会計基準第2号）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会平成14年9月25日企業会計基準適用指針第4号）を適用しております。	
		なお、これによる影響はありません。	

(注) 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)	当連結会計年度 (自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)
当期純損失	—	3,462,295千円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る当期純損失	—	3,462,295千円
期中平均株式数	—	40,312,865株

(重要な後発事象)

前連結会計年度	当連結会計年度
該当事項はありません。	同左

⑤ 連結附属明細表

a. 社債明細表

該当事項はありません。

b. 借入金等明細表

(単位：千円)

区分	前期末残高	当期末残高	平均利率	返済期限	摘要
短期借入金	3,100,000	10,150,000	0.5 %	—	
一年以内に返済予定の長期借入金	348,320	1,199,020	1.6	—	
長期借入金（返済に特約の付いた借入）	747,010	2,327,990	1.7	平成16年～20年	
その他の有利子負債	—	—	—	—	
合計	4,195,330	13,677,010	—	—	—

(注) 1. 「平均利率」については、借入金の期末残高に対する加重平均利率を記載しております。

2. 長期借入金(1年以内に返済予定のものを除く。)の連結決算日後5年内における返済予定額は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	1年超2年以内	2年超3年以内	3年超4年以内	4年超5年以内
長期借入金	1,035,590	756,400	274,000	224,000

(2) その他

該当事項はありません。

監 査 報 告 書

平成14年6月27日

株 式 会 社 サ ニ ッ ク ス
取締役社長 宗 政 伸 一 殿

中 央 青 山 監 査 法 人

代表社員 公認会計士 藤 田 和 子 印
関与社員

代表社員 公認会計士 青 野 弘 印
関与社員

当監査法人は、証券取引法第193条の2の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている株式会社サニックスの平成13年4月1日から平成14年3月31日までの連結会計年度の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結剰余金計算書、連結キャッシュ・フロー計算書及び連結附属明細表について監査を行った。

この監査に当たって、当監査法人は、一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠し、通常実施すべき監査手続を実施した。

監査の結果、連結財務諸表について会社の採用する会計処理の原則及び手続は、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠し、かつ、前連結会計年度と同一の基準に従って継続して適用されており、また、連結財務諸表の表示方法は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和51年大蔵省令第28号）の定めるところに準拠しているものと認められた。

よって、当監査法人は、上記の連結財務諸表が株式会社サニックス及び連結子会社の平成14年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する連結会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は関与社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

独立監査法人の監査報告書

平成15年6月27日

株式会社サニックス
取締役会御中

中央青山監査法人

代表社員 公認会計士 藤田和子 印
関与社員

代表社員 公認会計士 青野弘 印
関与社員

当監査法人は、証券取引法第193条の2の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている株式会社サニックスの平成14年4月1日から平成15年3月31日までの連結会計年度の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結剰余金計算書、連結キャッシュ・フロー計算書及び連結附属明細表について監査を行った。この連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から連結財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積もりの評価も含め全体としての連結財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社サニックス及び連結子会社の平成15年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する連結会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

追記情報

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項4に記載されているとおり、会社は、当連結会計年度から、連結会計年度末に保管している再資源化燃料用廃プラスチックについて、将来発生すると見込まれる移送・保管等の費用見込額を、再資源化費用等引当金として計上する方法に変更した。

会社と当監査法人又は関与社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

最近4年間の業績推移

(単位:百万円)

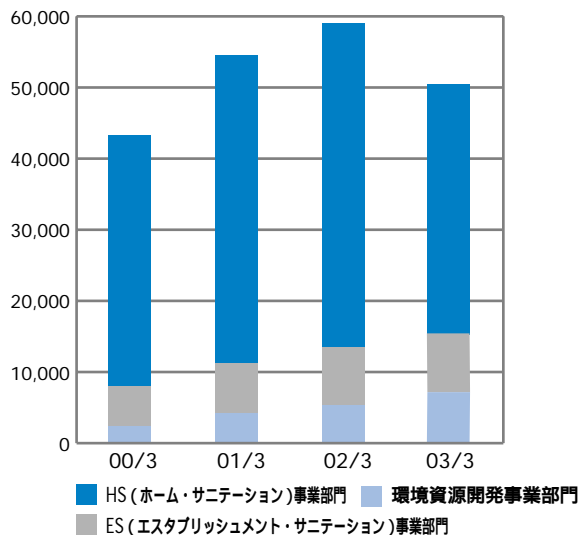
	2000 / 3	2001 / 3	2002 / 3	2003 / 3
売上高	43,566	54,530	59,260	50,357
(HS事業部門売上高)	(35,127)	(43,385)	(45,490)	(34,708)
(ES事業部門売上高)	(5,886)	(6,576)	(8,094)	(8,085)
(環境資源開発事業部門売上高)	(2,552)	(4,568)	(5,675)	(7,564)
売上原価	14,680	19,317	22,871	22,422
販売費及び一般管理費	22,672	27,691	28,775	30,714
営業利益	6,213	7,521	7,614	-2,779
営業外収益	150	157	355	420
営業外費用	420	291	198	227
経常利益	5,942	7,387	7,771	-2,586
特別利益	589	30	376	79
特別損失	20	1,461	838	1,266
税金等調整前当期純利益	6,511	5,956	7,308	-3,774
当期純利益	3,527	3,183	4,005	-3,462
1株当たり当期純利益(円)	136.70	77.84	97.88	-85.89
1株当たり配当金(円)	30.00	20.00	20.00	20.00
総資産	50,727	56,090	60,407	62,032
流動資産	22,818	15,570	12,893	9,169
固定資産	27,908	40,519	47,513	52,863
流動負債	7,899	10,935	12,511	18,513
固定負債	3,499	3,426	3,089	4,749
株主資本	39,327	41,728	44,805	38,769
設備投資額	7,272	13,114	9,064	8,632
減価償却費	790	1,679	2,224	2,377
事業所数(力所)	149	154	160	186
従業員数(人)	3,328	3,878	4,073	3,848
ROE(%)	12.78	7.86	9.26	-8.29
ROA(%)	8.84	5.96	6.88	-5.66

連結財務データ推移

業績

部門別売上高

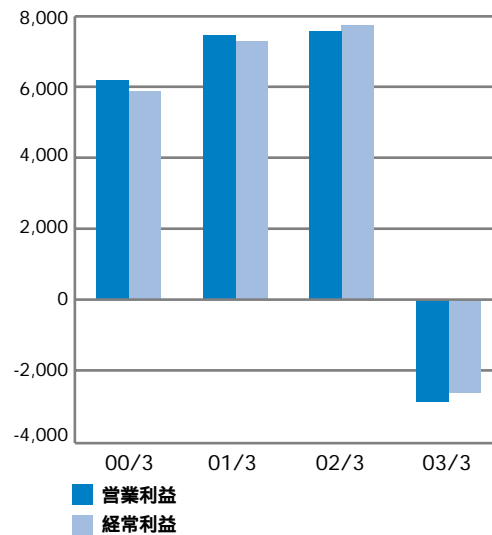
(単位:百万円)



		2000/3	2001/3	2002/3	2003/3
H	S	35,127	43,385	45,490	34,708
E	S	5,886	6,576	8,094	8,085
環境資源開発		2,552	4,568	5,675	7,564
合 計		43,566	54,530	59,260	50,357

営業利益・経常利益

(単位:百万円)

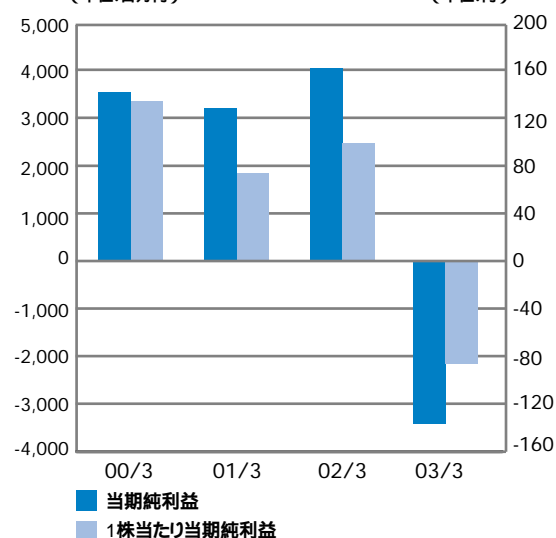


	2000/3	2001/3	2002/3	2003/3
営業利益	6,213	7,521	7,614	2,779
経常利益	5,942	7,387	7,771	2,586

当期純利益

(単位:百万円)

(単位:円)



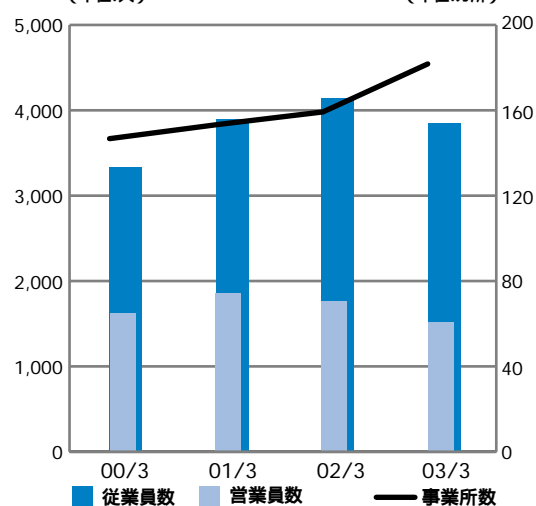
	2000/3	2001/3	2002/3	2003/3
当期純利益(百万円)	3,527	3,183	4,005	3,462
1株当たり当期純利益	136.70	77.84	97.88	85.89

(円)

従業員・事業所数

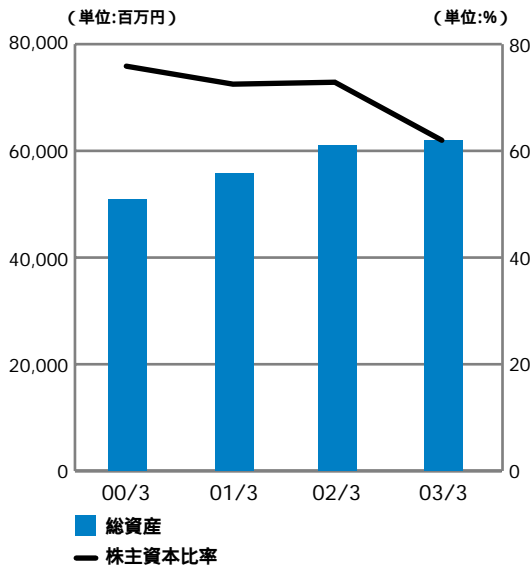
(単位:人)

(単位:力所)



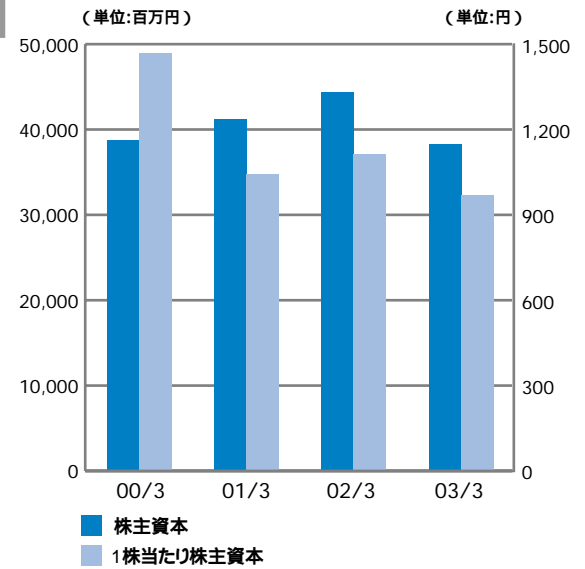
	2000/3	2001/3	2002/3	2003/3
従業員数(人)	3,328	3,878	4,073	3,848
営業員数(人)	1,619	1,804	1,751	1,509
事業所数(力所)	149	154	160	183

総資産



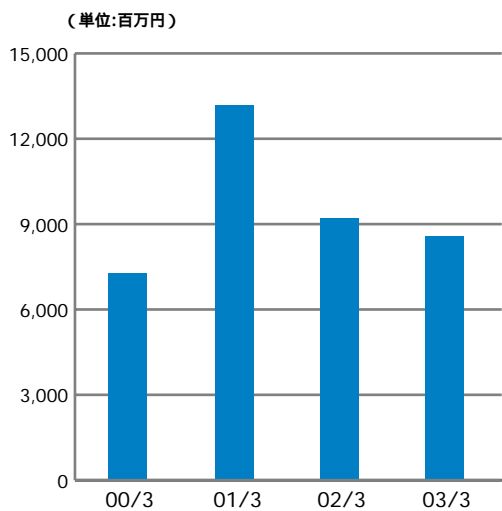
	2000/3	2001/3	2002/3	2003/3
総資産(百万円)	50,727	56,090	60,407	62,032
株主資本比率(%)	77.53	74.40	74.17	62.50

株主資本



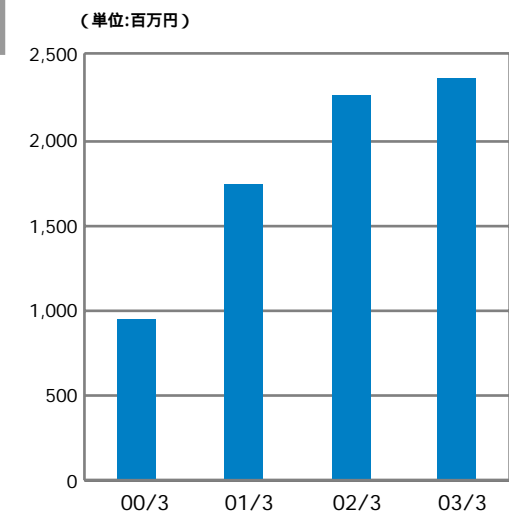
	2000/3	2001/3	2002/3	2003/3
株主資本(百万円)	39,327	41,728	44,805	38,769
1株当たり株主資本(円)	1,442.86	1,019.76	1,094.97	976.12

設備投資額



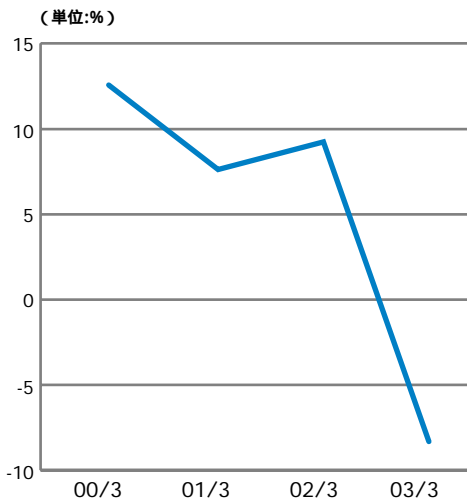
	2000/3	2001/3	2002/3	2003/3
設備投資額	7,272	13,114	9,064	8,632

減価償却費



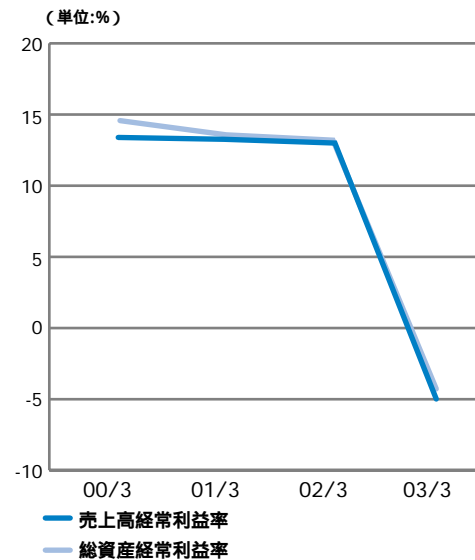
	2000/3	2001/3	2002/3	2003/3
減価償却費	790	1,679	2,224	2,377

株主資本利益率(ROE)



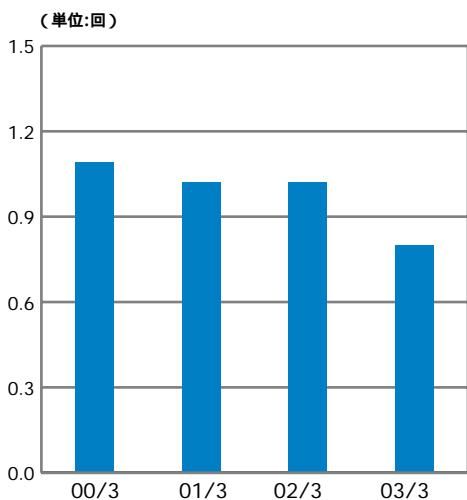
	2000/3	2001/3	2002/3	2003/3
R O E	12.78	7.86	9.26	8.29

売上高経常利益率・総資産経常利益率



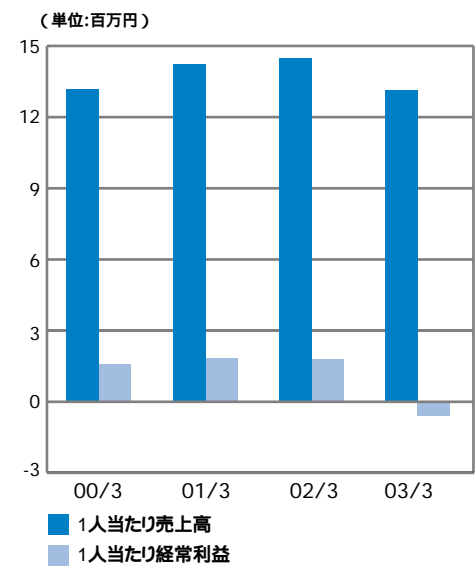
	2000/3	2001/3	2002/3	2003/3
売上高経常利益率	13.64	13.55	13.11	5.14
総資産経常利益率	14.90	13.83	13.34	4.23

総資産回転率



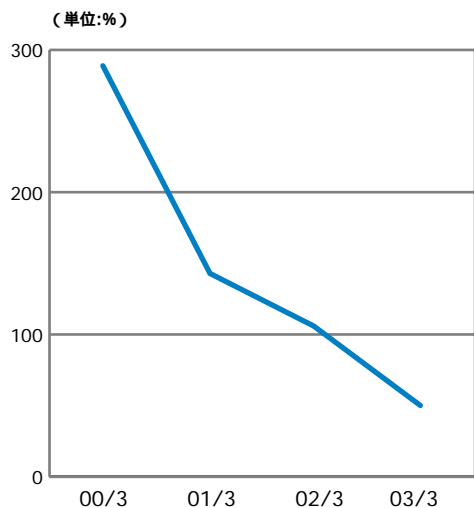
	2000/3	2001/3	2002/3	2003/3
総資産回転率	1.09	1.02	1.02	0.82

従業員1人当たりデータ



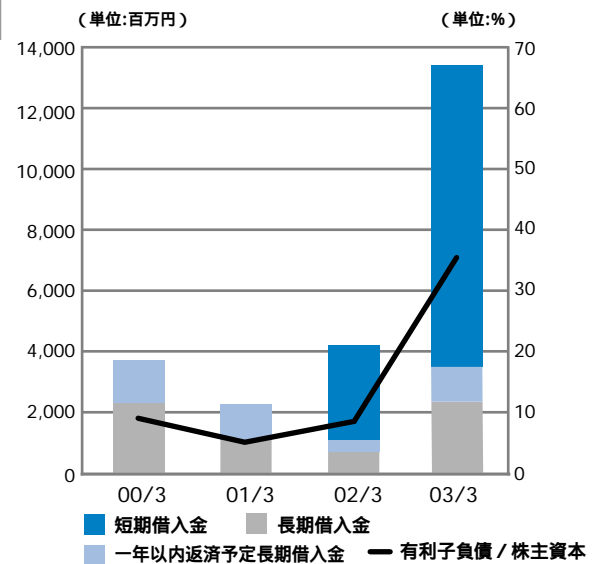
	2000/3	2001/3	2002/3	2003/3
1人当たり売上高	13.09	14.06	14.55	13.08
1人当たり経常利益	1.79	1.90	1.91	0.67

流動比率



	2000/3	2001/3	2002/3	2003/3
流 動 比 率	288.84	142.39	103.05	49.53

有利子負債



	2000/3	2001/3	2002/3	2003/3
短 期 借 入 金			3,100	10,150
一年以内返済予定長期借入金	1,419	1,184	348	1,199
長 期 借 入 金	2,279	1,095	747	2,327
合 計	3,699	2,279	4,195	13,677
有利子負債 / 株主資本 (%)	9.41	5.46	9.36	35.28

会社概要

(2003年3月31日現在)

株式会社サニックス

SANIX INCORPORATED

福岡市博多区博多駅東二丁目1番23号 〒812-0013

TEL. 092 - 436 - 8870

FAX. 092 - 436 - 8871

URL <http://www.sanix.co.jp>

創	業	1975年4月	
設	立	1978年9月	
株	主	資	本
従	業	員	数
営	業	所	数
		H S 事 業 部 門	136カ所
		E S 事 業 部 門	47カ所
		環境資源開発事業部門	3カ所
工	場	数	
		H S ・ E S 事 業 部 門	1工場
		環境資源開発事業部門	
		プラスチック資源開発工場	16工場
		焼 却 工 場	1工場
		有機廃液処理工場	1工場
発	行	済	株
上	場	取	引
決	算	期	
		数	40,920,752株
		所	東京、大阪、福岡
		期	毎年3月31日

SANIX

福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号 〒812-0013
TEL. 092-436-8870
<http://www.sanix.co.jp>
